



森のなかま

2008年12月

NO. 8 (継続153)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 島岡 功

やどりき水源林のつどい開催される！！ 10月18日(土)

普及啓発部会長 高橋 恒通

今年の「つどい」も昨年同様に天候に恵まれました。“県民との協働による森林づくり”と言う大きな下敷の上で今年は、平成22年春の「第61回 全国植樹祭2010 かながわ」に繋がるイベント「第2回 森のリレーフェスタ」も同時開催と言う形で行われました。

更に加えて今年は、我々のNPO法人かながわ森林インストラクターの会が、イベントの一部の業務委託を受けて行いました。

今回のイベントのメインコンセプトは、「私達860万人県民の大切な命の水の供給源である水源林の保全や育林の為に、お金や労働力でサポートして下さっている水源林パートナーの企業や団体、そして定着型ボランティアの方々への深甚なる謝意を込めた“おもてなし”とパートナー企業や団体のPR」です。

今回の「つどい」の内容に就いて報告致しますと、実行委員会事務局で集計した参加者は下記の通りです。尚、()内の数字は昨年度

◎参加者	参加人数	438名 (244名)
内訳	<一般参加者等>	365名
	・公募、パートナー等	309名
	・緑の少年団 (リレーフェスタ参加)	26名
	・招待者	1名
	・協力者 (コンサート、野点、間伐実演)	29名
	<事務局等>	73名
	・主催、共催	7名
	・森林インストラクター・看護師	32名
	・事務局 (県・公社・松田町)	34名
◎トレッキング参加者数		321名 (151名)

寄水源林のイベント広場の人員収容能力は450名強が限界だろうと言われてますので、今年は盛況だったと断言できます。前日の10月17日(金)に設営した各種テントの天敵である風も無くて、絶好のイベント日和で終始したプログラムの中で、私達インストラクターがご案内した午前中のトレッキング3コースは、目玉の“森のリレーフェスタ植樹コース”が広場から最も遠く最も高い所に在る植樹現場にも拘らず158名が参加され、怪我や事故も無く作業完了に至って何よりでした。

次が毎年人気の高い“自然観察コース”は140名の参加があり、案内のインストラクターの遣繰りに苦労する場面がありました。因みに昨年の自然観察コース参加者は54名。

最後の“森づくり木こりコース”は23名の参加で、昨年の28名より少なかったのは、やはりキケン、キツイと言う点が敬遠された結果かと思われれます。いずれにしてもトレッキング3コースのトータル参加人員が昨年の倍を超え、この方々を無事に案内された我々の仲間を私は誇りに思っております。

正午過ぎに主催者からの開催の挨拶に引き続いて、森のリレーフェスタセレモニーが始まり、森のバトンと緑のたすき引継ぎ式、森のバトンへの色塗、と交流会の幕が開きました。ブルーシートを敷き詰めた広場で、森のコンサートを聞きし乍らの楽しい昼食。

コンサートは寄席囃子の笛と太鼓の響き、松永先生の素朴な草笛の音、抒情豊かなプリランテのコカリナ演奏、そして主役の水源林パートナー企業・団体、定着型ボランティア等の紹介へと続き交流会は盛り上がりました。

今年の会場は、広場入り口の本部（受付）テントに続いて、水源林パートナー・定着型ボラコーナーのテントを設け、活動中の写真や報告、パンフレットやチラシが置いてあり、お客は必ずここをとおり、客に企業名や活動をPRする仕組みを拵えたのがポイントでした。

その他は、毎年好評の鹿シチューが今年も絶品の味、今や交流会会場の雰囲気形成に不可欠の野点コーナーに在る緋毛氈の色、我らインストラクター仲間で、茶道表千家の免許を受けた武者直さんの凛々しい宗匠姿、そしてお抹茶の一杯に至福の時を共有できた人達も少なくなかったのでは・・・と認識してます。それから今年も亦、人気の高かった水生・土壌生物コーナー、丸太切り・クラフトコーナー、独楽やロケットラワンのゲームコーナー、そしてグッズ販売のコーナーは全て私達インストラクターが運営し交流会の盛り上げに貢献できたのではないかと自負しております。

これに加えて、＜水源林パートナー＞のタカナシ乳業（株）様とコカ・コーラセントラルジャパン様からの飲み物のプレゼントも大変に有難く感謝申し上げます。

好天と相俟って事故も無く会が終始できた事を素直に悦び乍ら、下記の幾つかの事項は反省点として、来年の会に質すべきかと思っております。

その1は、植樹の折に鍬の数がやや不足した点、その2は、自然観察コースのアテンドするインストラクターの数が不足した点、その3は、森のコンサートの出番を変更した点、いずれも原因は判ってますので再発は防止できるものと確信しております。

最後に本開催に当り、企画から会場設営、そして運営に携わられた県森林課、足柄上地域県政総合センター、かながわ森林づくり公社、松田町の方々、私達NPO法人の仲間達に心から厚く御礼を申し上げます。本当に有難うございました。

以上

◎参加インストラクター名(敬称略)

米本② 落合③ 高橋(恒)③ 竹島③ 渡辺(孝)③ 柏倉④ 高崎④ 森本⑤ 斎藤⑥ 佐藤⑤ 須長⑥ 戸谷⑥ 愛木⑦ 伊藤⑦ 久保寺⑦ 篠木⑦ 武本⑦ 坂斎⑦ 武者⑦ 有坂⑧ 加藤(滋)⑧ 黒沢⑧ 野田⑧ 松村(俊)⑧ 石田(五)⑨ 内野⑨ 福島⑨ 宮向井⑨ 村井⑨ 海野⑩ 大沢⑩ 松山⑩
 ゲスト 島岡③、仲野④

◎「森のリレーフェスタ」で「成長の森」に植樹した広葉樹の苗木580本の植樹内訳は次の通り
 イロハモミジ、クヌギ、ケヤキ、ヤマボウシの各120本とコナラ100本。



やどりき水源林のつどい・会場風景



ボクも成長の森で植樹してま〜す。



山菜を楽しむ

その9 子だくさん ノビル (S) 有田保彰

私がよく歩く里山も、この30年間で随分と変わってしまいました。

台風などで大きい木がかなり倒れたり、崖が崩落したり、また自然の遷移なのでしょうか、我がもの顔で群落を作っていた草が急に減ってしまい、とって代わった別の草が一面に茂ってきたりしています。

人の活動の影響も少なくはありません。すぐ側まで団地が造成されて、アスファルトで舗装されたりコンクリートの護岸になったり、また、日陰がなくなったり水や風の通り道が変わって湿地が乾燥地になったりしています。

毎年出逢うのを楽しみにしていた花が、ある年、突然全く見当たらなくなったりします。

こういったことは、ある程度いたしかたないのですが、悲しいのは、盗掘です。植物を絶滅させる三大原因として、温暖化、大規模開発と並んで盗掘をあげている資料を見ることがあります。

畑に入らないでとか、フキを取らないでとか立て札を立てなければならぬくらい、多くのハイカーがあれこれ盗ってってしまうことも少なくありません。

農作物だけではなく、コース沿いの山野草も同じです。エビネやシュンランなど、いぜんはときどき見かけていましたが、今は、まったく見あたりません

そんなやこんなやで、私たちのツクシマップ、ノビルマップなど、毎年のように書きなおしをしなくてはなりません。

ご存知のとおり、ノビルはまとまって生えるので、取られるときはごっそりと全部取られてしまいます。どこにでもありそうなのに、探すとなると、なかなか見つかりません。

一叢掘ってみると、数本の太いものに適当なサイズのものがたくさん混ざっていて、さらに糸のように細い葉の根元に、孫のような小粒の玉がついたものが、これまたびっしりと絡んでいます。こんな小さな玉や細い葉は食べないのしょうから、せめて、小粒のものだけでも、元の穴に残しておいてくれれば良いのにとお思います。

ノビルはとても重宝で、私たちは、なにかにつけて薬味として利用します。適当な大きさの葉を一掴みむしってきたものをちぎり、納豆の薬味にすると野趣あふれた香りが引き立ちます。冷麺や温麺の薬味としても普通のネギに負けず劣らず、とてもいい感じですが。包丁で刻むより指で引きちぎる方が香りがたちます。

この薬味におかかをまぶして湯豆腐やご飯に散らしたときや、少し大きくちぎった葉を溶きこんだ卵焼きの色合いの美しさは、ご想像いた

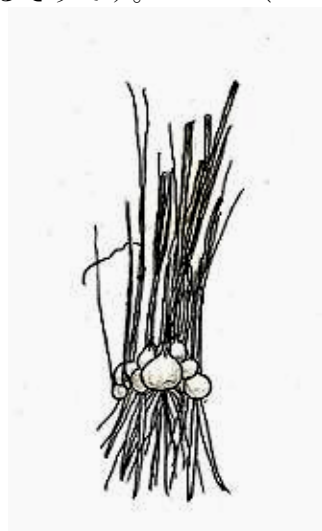
だけるとお思います

また、酢味噌で和えるヌタも定番です。玉についた根のうちひげ根は取りますが、数本ある少し太めものは玉と一緒に食べられます。

玉のサイズは大き過ぎると、食感が悪くなるので中くらいのものが最高です。エシャロット、ワケギと同様、生のまま味噌をつけただけでも酒のさかなになりますし、人によってはこれが一番というかもしれません。

卵とじ、汁の具、お浸し、野菜炒めなどなど、ほんとうに重宝な万能選手です。

精力増進、神経のイライラ、虫さされなどに薬効があるそうです。(つづく)



画 有田保彰

活動短信

8/27~11/1

鈴広蒲鉾本店森林間伐体験

日 8月27日(水) 10時半~12時半
 場 やどりき水源林
 参 7名・引率者2名
 県 金田
 区 柏倉④、山崎⑦、

前夜の天気予報は「雨のち曇り」であったが、当日は時折薄日もさす天候となり、予定通り実施。作業上の注意の後、間伐のやり方について実物の見本を示しながら説明し、現場へ移動する。25年生のヒノキを4本、それぞれ木掛かりすることもなく順調に間伐作業を終える。貴重な体験をしたと参加者の顔は様々に満足げであった。今回で2回目の参加という80歳の男性に健康の秘訣を尋ねると「何事にもよくよしないで、我を通さず、なるがままに任せて過ごすことですね」と、穏やかな顔で話されたのが印象的でした。
 (記 4期 柏倉)

「県民参加の森林づくり活動」

日 9月7日(日) 9時半～13時
場 小田原市久野(一部事務組合林)
参 50名
イ L波多野⑨、落合③、滝澤⑤、森本⑤、安藤⑦、篠木⑦、渡辺(公)⑦、有坂⑧、浦野⑧、松村(春)⑧、飯澤⑨、上田⑩、小澤(靖)⑩、中元⑩、橋本⑩、矢澤⑩、
研 江口⑦、金森⑩、牧野⑩、松山⑩、
公 河野、小林 **看** 廣島

今回の現場である「小田原市久野(一部事務組合林)」は、本年7月に続き2回目の下刈りである。とは言え、夏の日差しと豊富な雨のおかげで下草は生い茂った状態であった。

インストラクターは予定通り8時に小田原駅西口に集合し、作業内容確認、注意事項確認等の打合せを済ませ参加者の到着を待った。若干の欠席者あったものの、50名の参加者が集まり3台のマイクロバスは関係者と合わせほぼ満席となった。

現場へ到着後は、大まかな作業説明・注意事項を参加者に説明し準備運動を行った。その後、班ごとに集合、班長より参加者へ詳細の作業説明及び注意事項を行い作業開始。開始直後に小雨がぱらつき天候の悪化が懸念されたが、途中からは青空も現れる好天となった。(当日の夕方、小田原地区はゲリラ豪雨に見舞われたのだが・・・)

各班の担当エリアの下草の状態はまちまちで、多い所・少ない所や作業面積の広い所があったが、各班それぞれのペースで作業が進み最終的には予定時間より早く作業が終了した

比較的作業の終了が早かった3班には、「ボーナスステージ」として新たなエリアが追加されたが、班メンバーのテンションは高く、嬉々として追加作業に取り組んでいた。また、4班は機転を利かせ、自発的に作業面積の広い5班のヘルプに入っていたが、結果として各班凡そ同じ時間に作業が終了した。

なお、安全面では、軽い熱中症で気分が悪くなった方が一名いた以外、事故は発生しなかった。

今回の参加者には若い人も多く、作業現場に活気が満ちていた事が印象深い下刈り作業でした。

(記 9期 波多野)

下草刈り等体験イベント

日 10月4日(土) 晴 8時45分～16時半
場 イタリー水源林・浄水所(箱根・仙石原)
参 25名(子供6名)
主 神奈川県企業庁・(財)企業庁サービス協会 原田常務、浅田、内田、北村、新藤、
イ L村井⑨、落合③、柏倉④、加藤⑧、**看** 小林

県営水道上流域の水源林において下草刈りの実体験を通し、水源林保全の大切さについて理解を深めてもらうことを開催趣旨としたイベント。

本厚木伊藤ビル前を大型バスで8時45分出発。約1時間半の車中はまず作業の説明、柏倉さんの経験から来る豊富な「水」の話、出発前に拾ったクスノキの匂い当てクイズ、そしてバスガイドの芦ノ湖歴史ばなしであったという間にイタリー水源林へ到着。ヒノキの15年、混交林を目指してるとの説明でしたが、ウツギ、クロモジ、タラノキ等も保護されていて趣味の森という感じでした。昨年に続いての参加者もいましたが、ほとんどが初心者ながら時間通りに終了。敷地内のイタリー浄水所を見学。たっぷり2時間の昼休憩後帰途に着きました。(記 9期 村井)

魚止めの森で溪畔林再生

日 10月4日(土) 10時～14時 快晴
場 津久井町、鳥屋地内「魚止めの森」
参 かながわトラストみどり財団、20名
 (伊藤専務、高橋次長、壺崎含む)

看 1名
イ L 齊藤⑥、松山⑩

愛甲石田駅前8時にマイクロバスで出発、途中車内で植樹に関するミニ講話をしながら9時30分着。早速オリエンテーリングストレッチ運動で体を解し、サワグルミ、ミズナラ、イロハモミジ、カツラ、ケヤマハンノキ、フサザクラ、のいずれも溪畔地に適した5種類の苗木400本を植え始めた。10月2日の下見の時に苗木を植付場所に配置しておいたので20人一斉に植え始めることが出来た。大きい石が沢山あり鶴嘴を使って穴を掘所もあり1人20本はきついかないと考えたが若さと熱心さで時間内に終了することが出来た。石の多い所は戻す土が足りず広場に埋戻し用の土?がありバケツで運んで戻したこともあった。溪畔は大きい石が多く作業には体力を消耗したがその分河原での昼食はおいしかった。植樹地は鹿柵をすることによって将来は立派な広葉樹に育つことを期待したい。(記 6期 齊藤)

広域県央まつり(県産木材フェア)活動報告

日 10月5日(日) 9時～16時
場 海老名中央公園
来客 大人377名・子供102名
県央 3名
イ L 高橋③ 渡辺③ 柏倉④ 宮本④
 森本⑤ 齊藤⑥ 須長⑥ 武本⑦
 久保寺⑦ 加藤⑧ 松本⑧ 中島⑨
 海野⑩ 計13名

この種のイベントが県中央部で開催されるのは初めてである。今回の趣旨は、本年度より相模原市が県央地域県政総合センターの所管区域となりスタートしたが、これを機会に地域の木材業協同組合や森林組合等の協働により県産木材フェアを開催し、水源の森林づくりの取組みとともに県産木材をPRすると云うものである。県森林地帯の丹沢山塊近くの集客力ある地で開かれるのも意義深い。

出展規模は3森林組合・建具協働組合・木材会社・住宅・建築会社と多彩である。

(合計12ブース)

インストラクターの会は2ブース使用で“水源の森林づくり”PRを主体に、出し物は紙芝居とクイズ・丸太切り・どんぐりトトロのクラフト等いつもの街頭キャンペーンと同様だが、「全国植樹祭」PRも積極的に行った。午前9時のイベント開始時は人出もまばらだったが、周辺ショッピングモール開店の10時を過ぎる頃から俄に人出が増え、有り難いことに我ブースにも多くの来客を迎える。特に人気のクラフトコーナーは、幼児連れの若いファミリーやビナウォーク訪問の家族で混雑が始まる。来客のピークは昼前後であったが、インストラクター13名のフル回転により混乱なく対応出来た。県が用意した「さがみの水」丹沢源流水ペットボトルも928本を配布し品切れとなった。午前中の秋天もポツリポツリ雨が降り出した頃予定通り4時に終了する。今後、継続されるであろう“県央まつり”への取組みとして、インストラクターの会が総合力を発揮レベルアップする事で、推進役の一翼を担える出展者に成り得ればと考えます。また、その事がNPO法人としての存在感を内外に示す一機会になると思われる。

(記 7期 久保寺)

アート縁日 報告

- 日** 10月11日(土)・12日(日)
場 横浜ポートサイド公園
イ 1日目 森本⑤、武本⑦、中島⑨、谷津⑦
 米本②、
 2日目 森本⑤、中島⑨、谷津⑦、米本②

会のグッズの販売を目的にアート縁日に出展しました。作品を募集したところ、大道さんより動物グッズ22作品を出品していただき、17作品を販売することが出来ました。武本さんからはバードコールを納入していただき、在庫分と合わせて96コ販売しました。6期永野さんからいただいたはごいたボルト、で作ったバードコール15コも完売でした。店頭で吊るして飾った、どんぐりトトロとまっくろ黒すけ(ムクロジ)のくみあわせのストラップが大人気でバードコールと合わせて賑わいとなりました。販売の方では、中島さんの口上のおかげで売上が伸びたと思います。

当初の予定では10万は売れると思っていましたが、結果は87,650円でした

出展数(180ブース)が多いのでそんなには売れないという森本さんの予想の方が当たりました。

作品では大道さんのフクロウが福を呼ぶということで人気で良い作品でした。10羽の内7羽アート縁日で売れて、残り3羽は水源林の集いで完売しました。アート縁日は初めての試みでしたが新しい作品も出てきて、まあまあ良かったかなと思っています。

(記 2期 米本)

森林づくり体験講座(間伐)

- 日** 10月11日(土)
場 南足柄市内山(県立21世紀の森)
参 8名
講 太田材木店 太田氏、神工社 田代氏
イ L鈴木⑨、坂齋⑦、仲野④、石田(五)⑨、尾崎⑥、久保⑧、福原⑩、辻村⑨、鈴木(碩)⑥、渡部(公)⑦、富山⑧、
研 村井⑨、飯澤⑨、金森⑩、上田⑩、
公 茂木、鳥海、 **看** 青木 **用具準備** 志村

朝からどんより曇り、ときおりばらつく雨の中、午前中は21世紀の森西側に位置する23年生のヒノキ林において間伐作業を行った。30度程度の急斜面とほとんどがかかり木になってしまう状況であったが、参加者・インストラクターともに無事作業を終了し、心地よい汗を流すことができた。昼食をはさんで午後からは、21の森からバスで10分ほどの場所にある太田材木店に場所を変え、実際の製材作業や内装が木造のショールームを見学するとともに、太田氏と田代氏から「木材の利用」というテーマで製材や木材加工について興味深いお話を伺った。森林育成のためには木材利用も拡大していく必要があると改めて感じた。

(記 9期 鈴木)

神奈川SR(社会労務士)経営労働センター

第5回森林整備体験

- 日** 10月18日(土)
場 県立21世紀の森
参 労働保険事務組合員18名
イ L久保⑧、宮本④、松本⑧

昨年は雨で中止だった。今年は朝からすばらしい天気。9時50分新松田南口集合し、21世紀の森に向かった。午前中は天然の森コースを登りながらの自然観察、キク類、トリカブトそして一寸時期の過ぎたキバナアキギリなどや、真赤に色着いたガマズミの実や熟したイヌガヤの実などが目を愉しませてくれた。昼食は休憩所付近で12時半を回っていた。昼食もそこそこに世界の森と市町村の間の三角地帯の林内整備作業に取り掛かった。

一時間みっちり、途中の休憩も休むことなく作業を行なった。SRの方々とは作業する度に仕事の速さ、その仕事ぶりにいつも感心させられるが、今年もその印象は変わらなかった。作業を終了後、富士山を眺望しながら文部省唱歌(富士山)を謳うことになり展望所に登り、丁度、頭を雲の上に出していた富士山に向かい、松本インストの発声でみんな元気よく合唱した。帰りは下りで早く、30分足らずで下の広場に下り、道具の手入れ、倉庫への格納、15時45分すべての作業を終えた。

(記 8期 久保)

自然観察しながらの登山

- 日** 10月20日(月)7時半～15時半 曇り後晴
場 愛川ふれあいの村～高取山～仏果山
参 横浜市立浅間台小、4年生41名・5年生39名
 教師及びAT 11名・カメラマン1名・
イ L.佐藤武⑤、友谷①、柏倉④、久保寺⑦、武者⑦、伊藤⑦、久保⑧、黒沢⑧、松村俊⑧、村井⑨

毎年継続している学校行事で、昨日から宿泊している子供達に合せて朝が早い。

8:30 出発、高取山(705m)を経て仏果山(747m)で昼食、14:20～35、ほぼ予定通りに全員無事に下山した。今年も落伍者はいなかった。天気は次第に良くなり、日中は爽やかな風が気持ち良かった。二つの山頂には展望台があり360度の眺望、残念ながら横浜ランドマークはかすんで見えなかったが学校の方向を確認しあう。全員で助け合って楽しい登山をすることが目標の一つ、4・5年生合同の班編成で登山経験者の上級生が縦社会の機能を果たしていた。ヤブムラサキの葉の感触、カンアオイの花、シキミの実、ヤマボウシの味見、クロモジの香り、ヒヨドリジョウゴの赤い実など子供達の感動するものがかなりあったようだ。森林の働き、水源林や森づくりの話など、去年のことをしっかり覚えていてくれたことは嬉しいことであった。

(記 5期 佐藤)

2008年神奈川県勤労者育林祭

- 日** 10月25日(土)9時半～15時半 晴
場 やどりき水源林
参 連合神奈川 約120名(予定150名)
イ L.佐藤武⑤、落合③、吉山③、島岡③、宮本聡④、柏倉④、永野⑥、武者⑦、伊藤⑦、小野⑦、山崎⑦、浦野⑧、加藤滋⑧、大澤⑩、酒井⑩

水源林パートナー/連合神奈川の「2008年神奈川県勤労者育林祭」として登山道入口付近の区域で間伐が行われた。各班ほぼ8名で15班編成、およそ1時間半ほどの作業で計33本のヒノキを伐倒した。作業前にリーダーからは他人に怪我をさせない、自分も怪我をしないようにと、斜面での上下作業の禁止、近接作業の禁止、倒す前には必ず声を掛けるなどの安全上の注意があった。初めて間伐作業を体験する人がかなり多かったが作業は無事に終了し。輪切りにしたヒノキを持ち帰る人からは、また参加したいとの声も多く聞かれた。作業後は近くのバーベキュー会場に移動して乾杯の声を合唱した。インストラクターの我々もお相伴にあずかりご好意に感謝！なお、作業の終了時間にばらつきがあったことは各班指導者の反省すべき点であり、団体行動を整然と進めるために細心の注意を払う心がけねばならないと感じた。

(記 5期 佐藤)

県民参加の森林づくり (間伐)

- 日** 10月25日(土) 曇り
場 山北町山北 (河村城跡周辺)
参 50名
イ L内野⑨、石原(時)③、国分③、清水(正)③、鈴木(友)③、出口④、宮本(隆)⑥、安藤⑦、黒澤⑧、荒井⑨、飯澤⑨、鈴木(朗)⑨、岩田(茂)⑩、上田⑩、小澤⑩、後藤(幸雄)⑩
公 小林、稲葉 **看** 廣島
他 **県森林** 石鍋、依田山北町産業観光課長

今年5月に間伐をした場所の2回目の間伐で間伐対象木はそう多くはなかったが55年生のスギで樹高が高い。雨上がりの急斜面での作業で、足回りの整理・確保をしながらであったが、各班13～15本位を伐倒、枝払い、玉切り、土留めを兼ねた集積までおこなった。班によっては先回未処理になっていた伐採木の玉切りや竹やアオキを切るなどの林内整理もお願いした。作業後の林内は見違えるほど整理され明るくなった。参加者は達成感を味わっていたようであった。改めて大勢の力を感じた。昼食後、予定外であったが河村城跡発掘調査の現場を見学、貴重な経験をさせていただいた。その後ミニ講座『水道水はどこから』を少し短めにおこない、無事予定の時間に終了した。(記 9期 内野)

足柄宿泊体験学習 ～森林体験しましょう～

- 日** 10月29日(水)10時～13時半
場 県立21世紀の森・どんぐりコース
参 西富岡小学校5年生・84名 教師他10名
公 河野 小林
イ L高橋③ 渡辺③ 落合③ 武本⑦ 齊藤⑥ 杉戸⑥伊藤⑦ 板齋⑦ 中元⑩

テーマ:「社会科や総合学習と関連付けて、森林の役割や仕組み、森林を守る人々の取り組みを知り、森を守るために人が何をすべきかを体験を通して学ぶ」下見の時に雨天時の対応もしっかりとプログラムを組んでいたが当日は良い天気恵まれホットした。10時にバスが到着し元気な西富岡小学校5年生が内山橋付近に集合し、はじめの会の児童の挨拶からスタートした。高橋リーダーより、テーマと竹の伐採について解説され体験の目的の理解深めたと思う。慣れない手つきでヘルメット、鋸、剪定鋏を身に付けるのに一苦労しながら作業現場へ向う。現場は前日の雨で斜面がつるつるすべる悪条件ひのき林。9グループに分れ各インストラクターより作業上の注意、竹の切り方の説明と指導を受け作業開始。まず林内に散乱した竹整理と枝払を行い足場を良くし、続いてひのき林に伸びているマダケの伐採し切った竹は2mの長さで玉切り枝を払った。作業に夢中になっているうちに作業終了の11時40分になる。

竹を伐採したエリアを見渡し明るくなった林の様子を見て一様に感動と達成感を味わっていた。道具の手入れを経験した後、運動広場へ移動しインストラクターを囲んで昼食をとる。その後、短時間であるが森林館の見学。もう少し見学したいと言う児童もいたが、1時30分、バスの窓から満足感が漂う笑顔と明るい声でサヨナラと手を振っている児童を見送り、本日の活動を怪我も無く終了した。

(記 10期 中元)

川崎市立川中島中学校[ふれあい森林ツアー]

日 10月30日(木) 10時20分～15時 曇のち晴
場 やどりき水源林
参 3年生 男子17名・女子77名 計94名
イ L高橋③、渡辺③、柳③、④柏倉、宮本④、斉藤⑥、須長⑥、渡部⑦、野田⑧、
公 河野、鳥海

プログラム別参加者

- ・水生生物・自然観察コース 50名
- ・チャレンジ林業(間伐) 〃 16名
- ・自然散策・観察 〃 12名
- ・林道ウォーキング・自然観察 〃 16名

1. この行事のねらい 自然の中で体験学習や自然観察を通して、生徒同士および生徒と先生とのよりよい人間関係を築き上げ連帯感を深める。

2. 活動状況 バス到着が予定より遅れたり、開会式の始まりまで時間がかかりプログラム開始が30分遅れでスタートした。今時の中学3年生であり行動にメリハリがなくダラダラと始まった感じであったが、プログラムが進むにつれて興味を示し始め、間伐材利用のコースター作りには時間をオーバーして取り組んでいた。閉会式では全員が朝と違い、生き生きした顔つきに変わっていたように感じられた。最後にインストラクターが用意しておいたコースター材が、全員におみやげで配られ、お礼の言葉を残して帰っていった。

(記 7期 渡部)

「タカナシの森の清掃及びリース作り」

日 11月1日(土) 晴れ
場 やどりき水源林
参 31名(子供16名含む)
県 金田、他1名
イ 野牛⑧、吉山③、

タカナシの森内の清掃及び集会棟近辺でのリース作りでした。タカナシ殿が事前に準備された、つるや松ぼっくり、リボン及び当日現地で採取した、つるや葉を使用したのリース作りは、大体1家族1個制作できたようでした。その他に県が準備された間伐材、竹材、ドングリを使用したのクラフト作りも好評でした。尚、タカナシの森は、河川敷でフサザクラ等の広葉樹が10m高さ以上になって、光が余りささなく、ほとんど低木がない状態。清掃時に野牛さんは、次の作業として光がさすように森林に手を入れることを提案されてタカナシの人はうなずいていました。天候に恵まれ、無事に2時頃解散式。皆さん満足されたようでした。(記 3期 吉山)

旭硝子(株)森林ボランティア

日 11月1日(土) 9時～15時半
場 21世紀の森
参 旭硝子社員31名(内子供7名)
イ 柏倉④、宮本④、須長⑥、

雲ひとつない晴天に恵まれた1日、旭硝子(株)の環境保全活動の一つとして間伐体験が行われた。近隣の事業所からの参加者が多く現地集合・現地解散の形がとられた。3連休初日の朝、さらに高速道路で事故渋滞が重なったために開始が小1時間遅れた。間伐の説明・準備体操の後班分けを行い森に入る。39年生のヒノキ(直径25cm位)を合計8本伐倒し2m長さに玉切りして経路まで搬出して午前の部は終了。

うすら寒さを感じる森の中、大木が倒れる時の緊張と玉切り・搬出という初めての作業で気持ち良い汗をかいて、十分に喜んで頂けたと思う。

午後は希望者のみ天然の森コース、金太郎・どんぐりコース、木工コースに分かれて自然観察と工作を行いコース毎に解散した。

(記 6期 須長)

お願い：活動短信について
 ★活動報告文は400字にまとめて下さい。**イ**のリーダー名・期。看護師名も忘れずをお願いします。
 ★活動終了後、早めの投稿をお願いします。(順繰りに掲載してる関係で〆切り日を考えずをお願いします)

やどりき水源林
ミニガイド

11月のトピックス

・周遊Bコースの一部が、今年夏の大
雨で寸断され通行不能になっていま
したが、改修工事が急ピッチで進んで
います。間伐材を利用した型枠を使
い、自然環境に配慮した工法で施工し



ています。

12月の水源林

・12月上旬まで紅葉が見られそう。
12月下旬から冬の間、定例観測会
は、しばらくお休みします。水源林
も静かな冬の装いとなります。

「森の案内人」情報

- 実施時間：毎週土曜・日曜・祝日午
後1時より1～2時間程度（冬季休
止）
- 集 合：水源林入口ゲート前
- 内 容：森林インストラクターが自然観
察にご案内します。森林のしくみ・手
入れなどについて説明いたします。
参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記まで
ご連絡ください。
- 問合せ：(社) かながわ森林づくり
公社 県民運動課
Tel 0465-85-1900
- ホームページ：
http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin/
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅またはJR 御殿場線
松田駅下車、富士急湘南バス「寄（や
どりき）」行き乗車約25分。バス下車
後（案内板あり）川沿いに徒歩35分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

箱根ビジターセンター【特別展】

開催のお知らせ▲12/1(月)～2/28(土)

【特別展】箱根で見る・箱根火山▲

場所：環境省：箱根ビジターセンター

多目的ホール（入場無料）

▲箱根火山の新しい説について△

☆さわれる岩石標本/温泉を展示します。

詳細は箱根ビジターセンターホームページで

◇森のなかま原稿募集◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集し
ています。写真、スケッチなども募集
しております。

送り先

<①手書き原稿送り先>

森 義徳

〒232-0053

横浜市南区井土ヶ谷下町16-3-202

Tel/090-5433-7784/Fax/<株リコ

ー・森宛045-590-1910>

<②メール原稿送り先>

【本誌】村井正孝

〒226-0002

横浜市緑区東本郷6-22-1-420

Tel/Fax：045-476-4112

Mail：murapu60dai@yahoo.co.jp

【別冊】金森 巖

〒227-0038

横浜市青葉区奈良2丁目10-5

Tel/Fax：045-961-6695

Mail：ik_forester@jcom.home.ne.jp

【CCで】森本正信

〒194-0001

東京都町田市つくし野2-13-7

Tel/Fax：042-796-6011

Mail：morimoto@bikkuri.co.jp

原稿の締切は毎月20日です。

◇編集後記◇

12月6日やどりきでの公社間伐
では、勤務先から精鋭9名が参加し
て班編成します。会社としてのボラ
ンティア制度をスタートさせる参考
にしたいと思います。（金森）

先週、毎年恒例の山歩き”大菩薩
峠から奥多摩小菅村に至るコースを
歩いた。唐松の落穂の道、赤黄の色
とりどりの山の風情は見事だった。
ささやかな海外登山の経験からみ
て、日本の四季の自然の素晴らしさ
は、世界に比類ないと思う。CO2減
らす環境問題は切実だが、この自然
美の極致を残すゆとりも併せ持ちた
い。（鈴木）

★コピー紙を購入しましたが、森林認
証（FSC認定）の紙を選びました。
一般紙より高かったですが、少しで
も環境配慮型の製品が増えていくの
を期待したいと思います。（井出）

★勤務先が民再申立てをしました。
当面、会社再生と森林再生の二兎を
追うこととなります。日本再生を含
め、再生という言葉が身に染みる今
日この頃です。（森本）

★急に寒くなってきて、いよいよ冬
ですね。木々は落葉するので野鳥観
察が楽しみです。また、皆さんの活
躍を楽しみにしております。（森）

★3回目の坐骨神経痛、整形のドク
ター曰く「筋肉落ちるからどンドン山
登りはして下さいね。」だるくて、き
つくて、痛いけど、ありがたいお言
葉。そんな訳で、ジャンジャンボラ
ンティア活動に参加しますよ（村井）

お詫び：紙面の都合上

連載3編・飯村氏、高橋氏、森
林文化部会「やどりきの暮らし
今昔」の了承を頂きお休みさせ
ていただきました。広報部

◇年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の
方は、郵便局備付けの郵便振替を利用
してお申し込みください。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛
まで購読料年2000円をお振込み
ください。振替用紙には、必ず、住
所、氏名を明記してください。
振替用紙到着の翌月号から12回/
1年間お届け致します。

（領 価 200円 送料共）

編集人：森本正信

広報部：井出恒夫、鈴木松弘、
村井正孝、金森 巖
森 義徳

ヤマケイ・カルチャークラブ ●山岳ライター石丸哲也氏同行

「花の遠足」その時期ならではの花と軽ハイキングを楽しむバスツアーをご紹介します。

三 義 山 日帰り	をくづれ水仙郷 日帰り	養 山 日帰り
出発日：12/18(木)～	出発日：1/15(木)～	出発日：2/19(木)～
横浜駅西口天理ビル前 7:30集合	横浜駅西口天理ビル前 7:30集合	横浜駅西口天理ビル前 7:30集合

ご不明な点がございましたら、下記まで気楽にお問合せください。

ALPINE ツア サービス 株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル

Tel:03(3503)1911 info@alpine-tour.com

<http://www.alpine-tour.com>

身近な日本の山旅から世界各地
の山岳リゾートや辺境の地まで
アルパインツアーは自然愛する
方々を地球のデコボコへご案内
します。次の山旅は、アルパイン
ツアーで出かけてみませんか。